

トルコ・イズミット(コジャエリ)地震に伴う地震断層

＜吉岡敏和・栗田泰夫・佃 栄吉＞

1999年8月17日に発生したマグニチュード7.4のイズミット(コジャエリ)地震は、トルコ北西部に大きな被害をもたらした。この地震では、トルコ北部を東西に延びる北アナトリア断層の一部が活動し、

地表に地震断層が出現した。断層の変位のセンスはほとんどが右横ずれを主体とするもので、最大の変位量は4.9mに達した。



1. アリフィエ東方のガソリンスタンドの右横ずれ。もとは直線状にのっていた建物のへりを利用して4.1mの右横ずれを計測した。



2. アリフィエ東方におけるコンクリート塀の右横ずれ。ここでの右横ずれ量は4.5m。



3. ギョルジュク東方におけるカズクル断層の変位、河床に約1mの段差ができ、滝になっている。



4. カズクル断層の変位に伴って海面下に水没した遊園地、断層の北側にあたる地域は1-3m沈降し、イズミット湾に水没した。